

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		Yくまーず未来Sopra		公表日		2025年 1月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・定員に対して基準のスペースは確保されています。 ・状況に応じて机・椅子・玩具等を移動することで活動に必要なスペースを確保できるように配慮しています。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・基準を満たしておりプラスαの配置となっています。 ・やむを得ない欠動を除いては確保することができています。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・掲示物等を減らすことで刺激が少なく集中できる環境作りを心掛けています。 ・視覚化や物の場所を決めるなどの配慮をしています。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日清掃を実施しています。チャックを活用することで清潔に保つことができています。 ・感染症対策や室内消火器にも力を入れています。 ・毎月環境整備を実施し点検と補修を行っています。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・2部屋を状況に応じて使い分けしています。 ・お子さんの状況に応じて個別に過ごせるよう配慮しています。	・玩具を移動することでスペースの確保をしている所もあるので、落ちついてくれている場所があってもよいと感じる。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・1つひとつ現場での様子の中で動きを検討し実践することができています。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・評価表を配布し、その内容を参照し改善に努めています。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎日の終礼にて意見を出し合い、改善点などの話し合いを行っています。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		・分からない為未回答(2) ・法人でできるよう検討していきたい。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・外部研修があれば積極的に告知し参加の案内がされています。掲示もされています。 ・定期的に必要な研修に参加しています。	・法人内研修があると面白いと思う。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・ホームページにて公表しています。 ・保護者様にも細かな活動内容を伝えることでより明確化できるよう努めています。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・ニーズを保護者様から伺い、確認した上で計画を作成しています。			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・都度、支援会議を実施し、支援会議で考察・検討をしています。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・ミーティングを行い情報共有しています。支援計画の中から毎月のねらいを要に作成し、指導案に反映して支援をしています。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・5領域に沿ったアセスメントにより確認しています。			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ニーズから支援内容につなげられるように、支援内容も細かく記載しています。			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・保育士が中心となり行っています。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・活動予定表に沿って保育士が活動を考案し、様々な療育を行っています。 ・固定化しないよう内容を5種類程に分類し順次取り組んでいます。 ・子どもの様子や月ごとの目標に合わせてプログラムを考案しています。			

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・特性に応じて集団と個別活動を分けながら支援しています。また、活動の中で強弱に応じて対応しています。 ・子どもの様子や支援計画から月ごとの目標があり、それに沿って実施しています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝礼にてミーティングや1日の予定・注意事項等の確認ができています。朝礼に参加できない職員に対してその日の担当者が周知を行い支援にあたっています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・終礼で振り返りや共有事項の確認を行っています。終礼に参加できない職員には翌朝に内容の伝達と記録の確認を徹底しています。	・「もっとこうしていこう」というフィードバックがあっても良いと思う。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・サービス提供記録やケア記録を記入しています。ケア記録は4項目の観点から記録しています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6か月に1度モニタリングを行い保育園の様子やご家庭の様子、ニーズを伺い見直しを行っています。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・管理者、児発管だけでなく保育士なども参加し情報共有をおこなっています。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・会議への参加の他に、必要に応じて来所いただき共有を図ったり、保育園等の送迎時に情報共有を行うなど連携を図っています。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・並行通園を推奨し、通園先とも情報共有を行うことで連携した支援を行っています。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・就学先の先生が来所され、お子様の様子や支援内容を実際にご覧いただく中で情報提供や情報共有を行っています。また、事前の書面や電話での情報共有の他に、引継ぎの会議をおこない相互理解を図っています。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		・分からない為未回答(1) ・通所児童部会や児童発達センターの公開保育へ参加する中で相談・助言等をいただいているが、もう少し交流や連携の機会があってもよいと思う。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		今後そういった機会があると良い。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・サービス提供記録や送迎時に様子をお伝えしています。 ・送迎等で保護者様との会話、コミュニケーションを大切にしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	・毎月のおたよりにて家庭で出来る療育の情報を提供しています。	・家族向けの研修等はできていない。 ・まずはペアレントトレーニングの知識を職員が持てるように研修などに参加してみたい。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時を初め、都度説明や周知をおこなっております。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・モニタリングの際にきちんとケアノートを取りニーズを伺って反映させています。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・説明し同意、サインをいただいています。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・モニタリングの際にお伺いする他に、連絡メールを活用して相談等をお受けしています。 ・相談内容を職員間で共有し検討することもできています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・父母の会、保護者会はありませんがイベントを開催し交流の場を設けました。 ・本年度は、夏まつりを開催し、保護者同士・兄弟同士の交流を図りました。	・もう少し交流の場が設けられてもよいと感じる。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・活動内容についての申し入れがありましたので、月予定表を作成し保護者向けにお便りを出しました。 ・迅速に対応することを心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・月だよりや活動予定表を配布し、活動内容やお子様の様子を発信しています。イベントの際には別途おたよりを配布、また、家庭でできる療育なども盛り込んだ通信を発行しています。	・SNSは活用してもよいと思う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報が記入されているものは鍵付きの書庫で保管し、退勤時には必ず施錠確認を行っています。 ・会議等で個人名を出さないなど留意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・文章で伝わりづらいことは対面や電話でお伝えするといった配慮をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		・夏まつりや他のイベントを開催し、地域住民を招待していけたらと思う（声掛けなどはできていない）。 ・移転して間もないということもあり本年度は見送りとなった。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・マニュアルの設置・周知、定期的な訓練や防災グッズの見直しを行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・避難訓練をおこなっています。	・避難訓練は行っていますが、救出等の訓練は行っていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	・予防接種の状況確認はおこなっていますが、契約の際に事前に服薬や発作の状況確認を、初回利用前には職員間で共有、必要に応じて掲示することですぐに確認できるようにしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・保護者からの聞き取りを実施しています。	・食事はお弁当持参のため、聞き取りのみで指示書までではない。食事提供上必要があるお子さんについては、指示書をいただき対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・安全計画に沿って、毎月の環境整備や避難訓練等を実施しています。 ・安全に配慮できるよう、様々な職員が関わって取り組んでいます。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・ケガや事故の際には記録に残し「フィードバック」し、終礼等で共有の上、全職員が閲覧できるようにしています。	・ヒヤリハットの共有をする場がありません。終礼等以外でもヒヤリハットの事例検討の場を設けられるとよい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	3	・本年度は2月の県の研修へ参加し、その後伝達研修を予定しています。 ・外部研修へ代表して参加しその後伝達研修をしています。	・4月入社後虐待防止研修の場がなかった。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・記載し了承を得ています。		